

(C) Copyright CANVASs Co., Ltd.

=====

【ソフト名】SST G1 アップデートインストーラ

【対象製品】SST G1 日本語版

【登録名】SST G1 Ver.2.0.0.43(日本語版)

【アプリケーション名】G1 Update 2.0.0.43(jp).exe

【著作権者】株式会社キャンバス

【動作環境】Microsoft Vista/ 7/ 8 (基本+高等のみ)

/ Windows 8.1(基本+高等のみ) / 日本語版

【配布条件】1) ダウンロードしたファイルの再配布を禁止します。

2) 他のメディアへの一切の転載を禁止します。

=====

<Ver.2.0.0.43> 2014.9.5

- 1) ※重要なお知らせ※**必ずお読みください！！**
- 2) 本バージョンアップによる変更内容
- 3) ドングル更新手順

1) ※※※重要なお知らせ※※※

Ver.2.0.0.41以降のバージョンから、SSTG1をご利用になるにはユーザーサポート情報が付与されたドングルを使用する必要があります。

ドングルの更新前に本バージョンアップを適用すると、SSTG1が立ち上がらなくなります。

ユーザーサポートに加入されていて、ドングルにユーザーサポート情報を付与されていないユーザー様は、3)のドングル更新手順に沿ってドングル更新を行ってください。

ドングルへのユーザーサポート情報の付与は、本バージョンへのアップデートを適用する前に必ず行ってください。

※Ver.2.0.0.38以降にドングルを更新されているユーザー様は、すでにユーザーサポート情報が付与されていますので、ドングル更新の作業は不要です。

※ドングル更新は、**ユーザーサポート期間内**のユーザー様へのご対応となります。

※ドングル更新後であっても、Ver.2.0.0.40以前のバージョンもご利用いただけます。

ユーザーの皆様にはお手間をお掛け致しますがご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

※ご注意！！

ドングル更新のご対応は、**平日の弊社営業時間内**でのご対応となります。

弊社休業日中にアップデートをされますと、すぐにドングル更新を行えず、最新のSSTG1が起動できませんのでご注意ください。その場合は、再度古いアップデートで**Ver2.0.0.40以下にダウンロード**してご使用ください。

2) 本バージョンアップによる変更内容

–プロジェクトファイルと映像ファイルのひも付け機能を追加しました。

プロジェクトファイル（.sdb）と映像ファイルのひも付けが行えるようになりました。基本編集機能に搭載されています。

映像ファイルを開いた状態でプロジェクトファイルの保存を行うことで、映像ファイルとプロジェクトファイルがひも付けられ、次回からプロジェクトファイルを開くと、保存した時に開いていた映像ファイルも自動的に開くようになります。

«注意点»

- ・ひも付けを行った映像ファイルの保管場所を移動した場合は、映像ファイルは開きません。
- ・同名の映像ファイルでも、映像ファイルの差し替えなどを行った場合は、映像ファイルは開きません。

–字幕表示時に、映像との重畳字幕表示のレスポンスが悪化していた問題を改善しました。

Ver2.0.0.41 から、映像を開いた状態で字幕の表示を切り替えると、映像との重畳字幕表示のレスポンスが悪化し遅くなっていました。今回のバージョンでは、映像との重畳字幕表示のレスポンスを改善しました。

–pngやtiff等のエクスポート処理において、イタリックの文字の右側が欠ける問題を修正しました。

以前のバージョンでは、pngやtiff等の画像ファイルをエクスポートした際に、語尾にイタリックを設定した文字があった場合、一部の文字で右側が欠けてしまう問題が発生していました。

今回のバージョンでは、語尾にイタリックを設定した文字があった場合に正しくエクスポートができるように修正しました。

3) ドングル更新手順

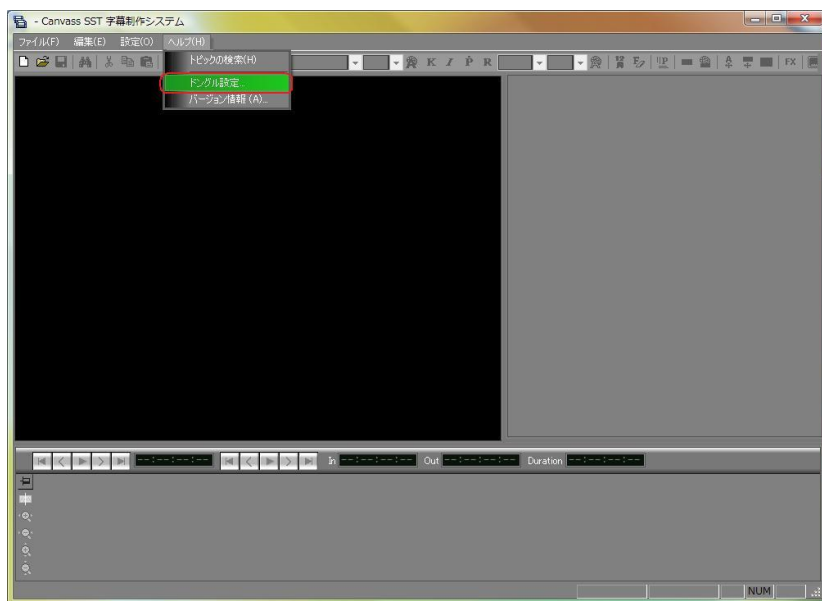
①SSTG1 をダブルクリックして立ち上げます。

※プロジェクトファイルも映像データも開かないでください。

※ドングル更新前に本バージョンアップを適用すると、SSTG1 が立ち上がらなくなります。

その場合は 6 ページ目「※ドングル更新前にバージョンアップを行ってしまった場合」をご覧ください。

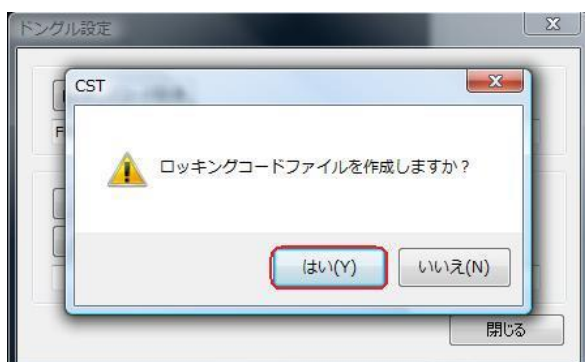
②[ヘルプ] メニューの [ドングル設定] をクリックします。



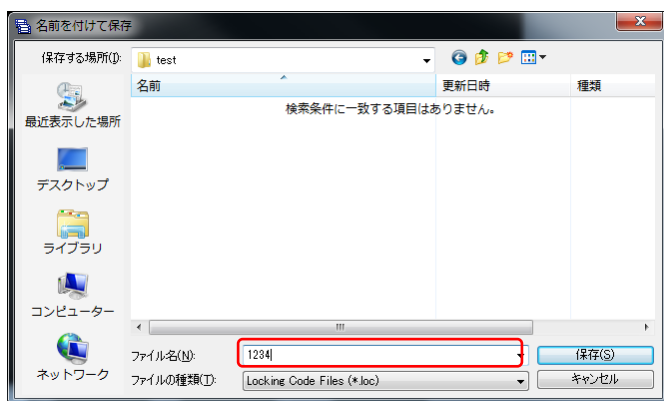
③[ロッキングコード取得]をクリックします。



④[ロッキングコードファイルを作成しますか?] とメッセージが出るので、[はい]をクリックします。



⑤ ドングル番号（数字またはアルファベット混合の4桁の番号）をファイル名として入力し、保存先を指定し、[保存]をクリックしてください。



⑥ ファイル名が入っていることを確認し、[閉じる]をクリックします。



⑦ 保存先に.loc ファイルが出来ます。このファイルを添付して株式会社カンバス宛にメールしてください。
メールアドレス sales@canvass.co.jp ※お名前を明記してください。



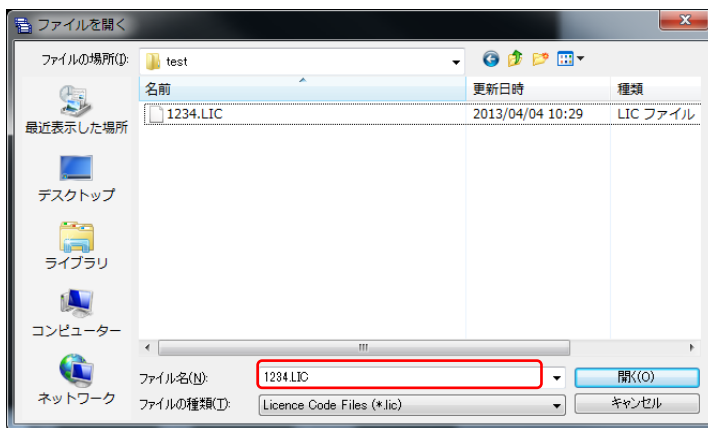
⑧ 株式会社カンバスから.lic ファイルを添付したメールが来ます。このファイルをパソコン上に保存してください。



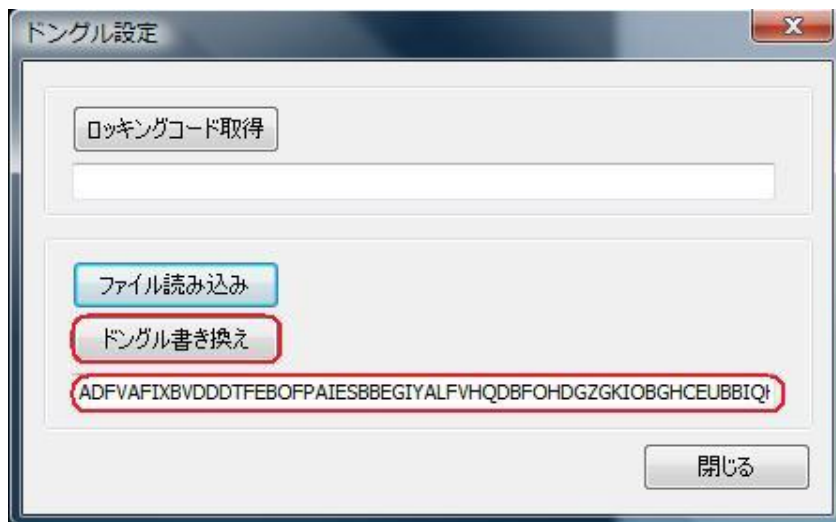
⑨②を参考に、[dongle設定]のダイアログを表示し、[ファイル読み込み]をクリックします。



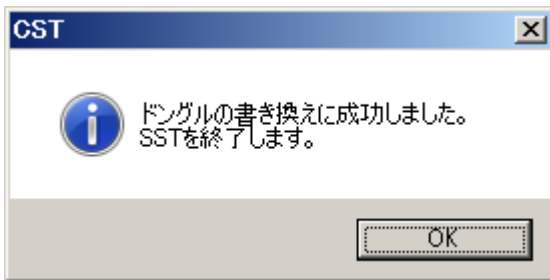
⑩.lic ファイルを選択し、[開く]をクリックします。



⑪ファイル名が入っていることを確認して、[dongle書き換え]をクリックします。



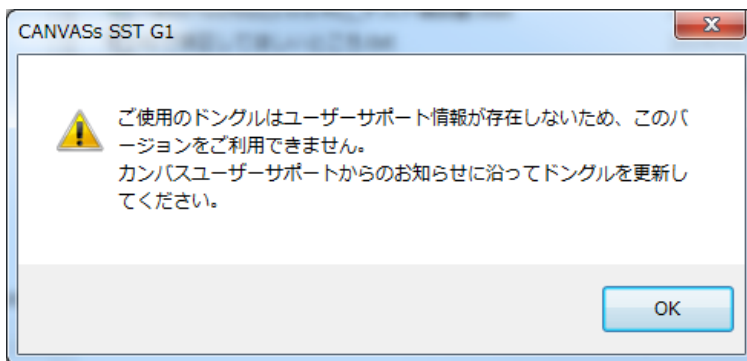
⑫ドングル書き換えが完了します。



これ以降、今回の機能が使用できるようになり、起動時のサポート切れのダイアログは表示されなくなります。

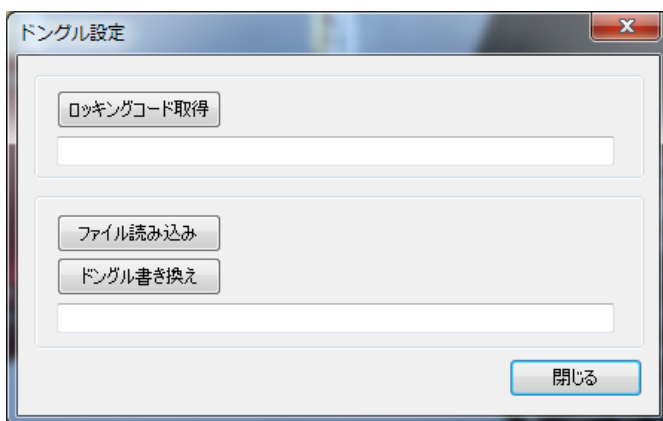
※ドングル更新前にバージョンアップを行ってしまった場合

本バージョンアップファイル適用後は、ドングル更新を行っていない場合、サポート期間が有効期間内でもG1を起動すると下記のようなメッセージが表示されます。



[OK]をクリックすると、ドングル設定画面が表示されます。

<ドングル更新手順>の③からの手順に沿って、株式会社キャンバス宛にロッキングコードをお送りください。



また、⑨からの手順は、Ver.2.0.0.43のG1起動時に表示されるドングル設定画面にて実施してください。